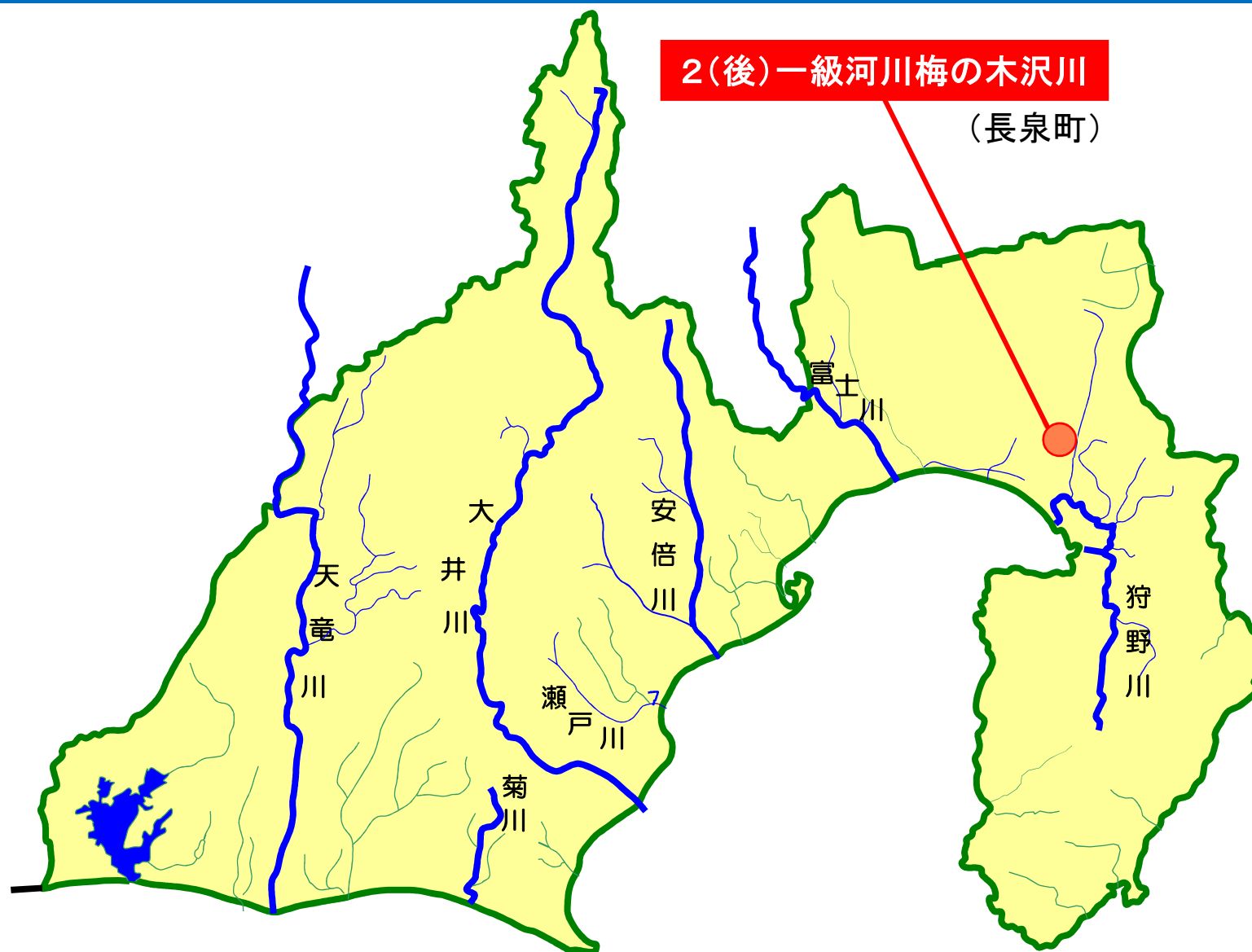
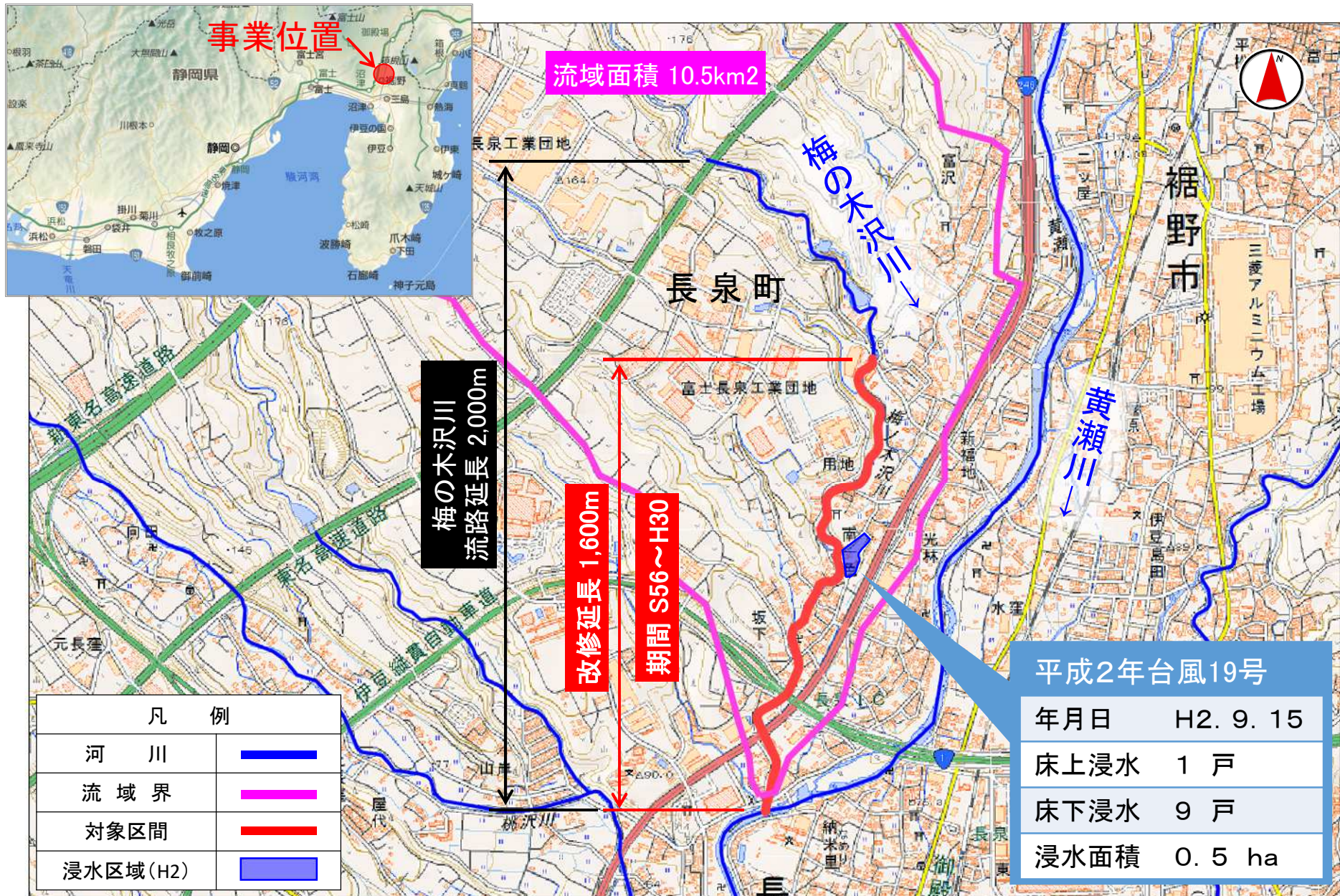


番号	事業名	箇所名	代表事例
2	河川改修事業	うめのきさわがわ 一級河川梅の木沢川	◎

河川砂防局 河川海岸整備課





<総合流域防災事業> 一級河川梅の木沢川

—計画(H25再評価時)—

事業期間	昭和56年度 ～令和3年度
事業費	2,030百万円

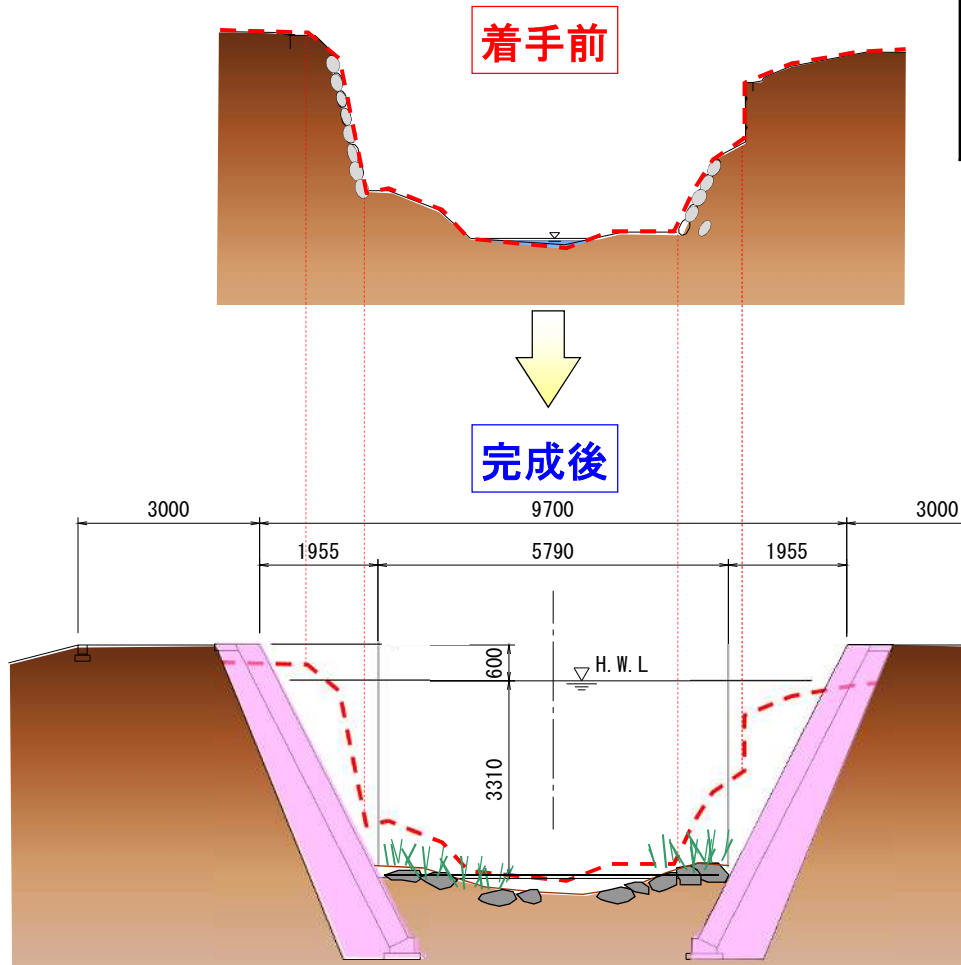


—実績—

事業期間	昭和56年度 ～平成30年度
事業費	1,958百万円



標準横断面図



改修規模	72mm/h 治水安全度1/30年確率降雨
実施内容	改修延長 L=1,600m 掘削・護岸工 L=1600m 橋梁工 N=5橋



梅ノ木橋～手城橋(1.3k地点)



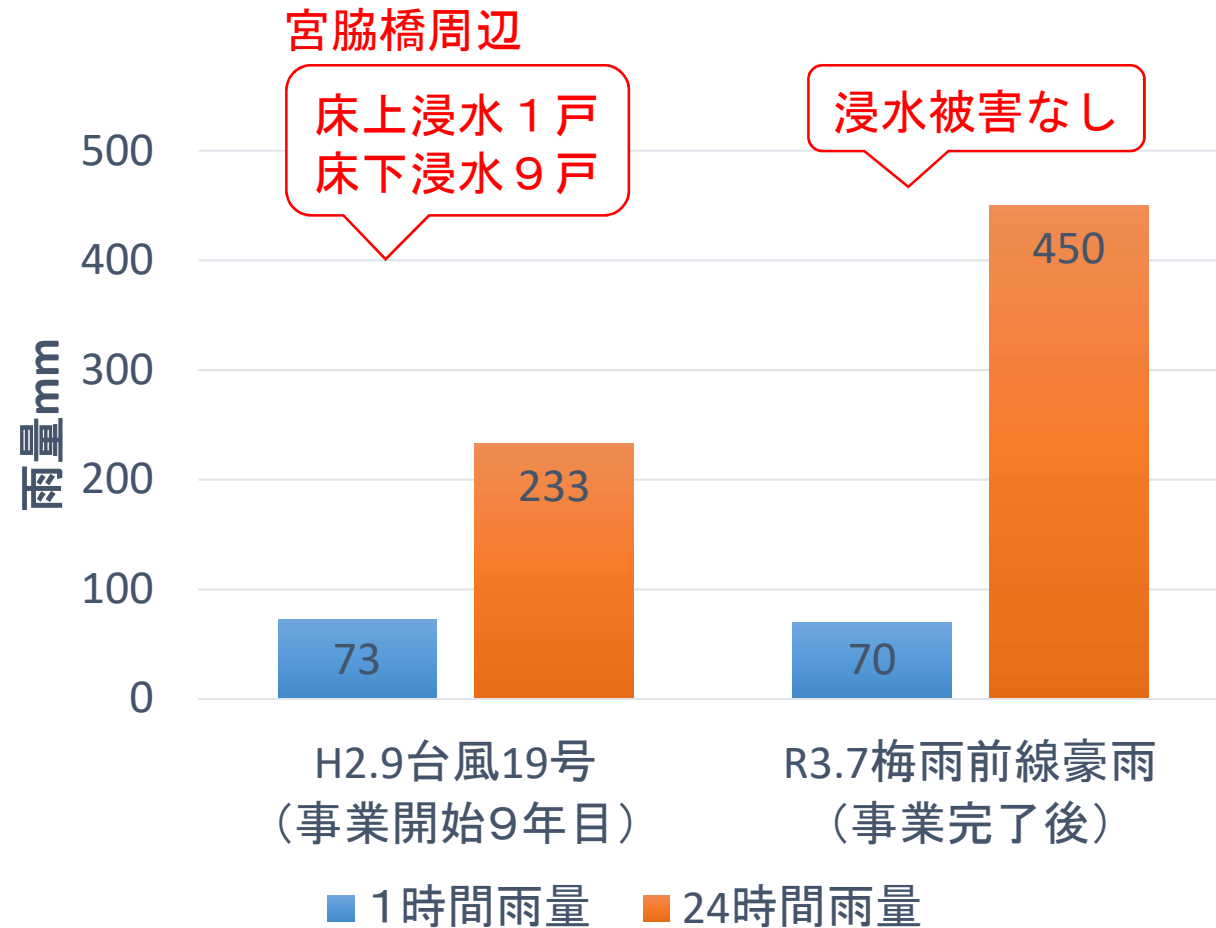
河道拡幅により、治水安全度が向上



手城橋より下流を望む(1.6k地点)



事業完了後、平成2年9月の台風19号と同規模の豪雨令和3年7月（梅雨前線）が発生したが、浸水被害が発生していない。



事業効果が発現されている

宮脇橋付近の河道状況



河川改修による治水安全度の向上のほか、ネック部であった橋梁5基を架け替えたことで地域交通の利便性の向上にも寄与

①二つ橋



②入方橋



河川改修区間近傍において工業団地や住宅地が建設されるなど企業や住民の進出が見られる

③工業団地



④新興住宅地



- 事業完了後、浸水被害の発生した平成2年9月の台風19号と同規模の豪雨が令和3年7月豪雨では、浸水被害は発生していないため、治水効果が十分発揮されている。

**事業効果は十分発現しており、
改善措置の必要はない**

今後の対応

河川パトロールに基づく堆積土の撤去や草刈りなど、河川管理者として適切な維持管理に努める。